

各地区を知り、何ができるかまた何ができていないかなど、身近な問題や課題等について話し合う。

(布瀬・手賀・片山)

○ 強み

- ・ 地区には2軒の商店がある
- ・ 生活環境が良い
- ・ 様々な年中行事を継承し、行っている。
- ・ 区民は協力性がある。
- ・ 日本に一箇所しかない、キリスト教会が残っている。
- ・ 週一回の通いの場がある (ラジオ体操・ストレッチ・脳トレ・盆踊り・お茶)
- ・ 月1回の通いの場がある (おにぎり弁当持参・出前講座・手芸・カラオケ等)

○ 弱み (課題)

- ・ 若い人が少ない
- ・ 中学生がいない (クラブ活動の種類が少ない)
- ・ 2ヶ月に1度のサロン活動も、同じ人ばかりで、参加者が増えない。
- ・ お年寄りの方は沢山いるが、日常生活でお会いする機会がない。
- ・ 交通の便が悪い。
- ・ 高齢になっても、みんな働いている。
- ・ 子供が少ない
- ・ 通いの場に、男性が出てこない。
- ・ 65歳~70歳の人が少ない
- ・ デーサービスに通うようになると、通いの場に出てこない。
- ・ 話し合いの場に、仕事のため男性の参加が少ない。
- ・ 免許返納による交通手段 (バス便の減少・公共交通の減少)
- ・ 空き家が多く、空き家対策が必要

○ 他 認知症研修を受けて

- ・ 農業=脳業 頭を使う為認知症に良い
- ・ 認知症の方に対し、思いやりを持って話す
- ・ 相手方の話を聞く
- ・ 優しく話す

(泉・鷺野谷・岩井)

- 泉に通いの場ができた
- 孤独死の方がいた。
- 見守りが課題
- 空き家が増え、対策が必要

(柳戸・金山・若白毛・)

- 良いところ
 - ・ 地区の人たちの顔がわかる
 - ・ 近所の方と普段、挨拶ができ、話ができる。
 - ・ 自然が豊か、田畑がたくさんある。
 - ・ 神社での年間行事が続けられている。
 - ・ さくら会を、区長・福祉員・民生委員が応援している
 - ・ 隣近所の方が良い人だ。野菜を頂いた。
- 課題
 - ・ 金山さくら会に、多くの方に参加して頂き、公民館で出来るとよい。
 - ・ 皆が集まって、話の出来るところがあるとよい。
 - ・ 道路を歩いている人がいない。
 - ・ お店・ポストがない
 - ・ 最近、子供たちの遊ぶ姿を見かけない
 - ・ 金山は、バスが通っていない。
 - ・ 少子高齢化が進み、若い人・子供がいない
 - ・ 高齢者が多い
 - ・ 隣近所の方の顔がわからない。
 - ・ 空き家が出てきている。
 - ・ 地区への関心が薄く行事参加者が少ない。
 - ・ 神社の行事が亡くなりつつある。
 - ・ 空き家を活用したいが、調整区域の壁が高い。
 - ・ 交通の便が悪い。高齢者が何処へでも行けるように。(カシワニクルの活用)